



自由クラブ
代表
鈴木基夫

令和7年度予算大綱
について

問 指定避難所の電力確保等について伺う。

答 46か所の施設を指定しており、可搬型蓄電池の配備や太陽光発電システムなどを設置し地域レジリエンスの強化を図っている。地区集会施設は、備蓄物資を配備しているが、電力の確保等は、地域の意見を聞きながら、検討していきたい。

問 レジリエンス補助金を活用した蓄電池について伺う。

答 指定避難所に電気自動車の使用済みバッテリーをアップサイクルした蓄電池を設置した。CO2の削減やレアメタルなど資源の再利用など、本市のゼロカーボンシティ及びサードキュラシティの実現に寄与すると考える。

問 子育てにかかわる課題に対する新たな取組について伺う。

答 子育て世帯、妊産婦及び子供が気軽に相談できるように、児童館及び子育て支援センターに地域子育て相談機関を設置し、子育ての悩みや不安感などを緩和し、子供の健やかな育ちを支援していく。

問 MCI（軽度認知障害）の取組状況は。

答 今年度よりプラチナ長寿健診を実施し、MCIやその前段階の人を把握し、支援を行っている。認知機能向上への取組は本人が継続的に行うことが重要で、アプリを使った取組も検討していきたい。



市政クラブ
代表
来本健作

令和7年度予算大綱
について

問 ラリー三河湾の実績と効果について伺う。

答 令和7年2月28日から3日間の日程で開催し、81台のラリーカーのエントリーがあり、8万5800名の来場者があった。観光客数や宿泊者数の増加に加え、WEBメディアやスポーツ紙などにも掲載され、観光振興、シティセールスとして効果があつた。小中学校でのラリー教室では、子供達が本物のラリーカーを身近に感じられる良い機会となった。

問 ラリーを活用したまちづくりの取組として、モナコ公園との連携について伺う。

答 連携を深める目的で訪問した。世界ラリー選手権の視察、モナコ市長との会談、国王

が環境保全を目的に設立したアルペール2世財団の方との面談など、ラリーと環境保護など海辺の環境について情報交換をした。今後は、財団の助成を活用した環境保護の取組を検討しつつ、ラリーを通じた交流を継続し、本市のPRやラリーを活用したまちづくりへとつなげていきたい。

問 東京ガールズコレクションへの取組は。

答 7年度は、マイナビTGC in 大阪・関西万博2025及びIGアリーナでのTGCの他に地元開催のTGC連携イベントを予定しており、繊維の技術や魅力を発信していく。



ラリー三河湾



公明党市議団
代表
松本昌成

市民の健康について

問 带状疱疹予防接種の現状と定期接種化の対応について伺う。

答 令和6年度の接種者数は、7年1月末時点でビケンが54人、シングリックスが923人。国の定期接種化に伴い、ビケンは三千元、シングリックスは1回につき七千円の自己負担で定期接種を実施する予定。50歳以上の人の任意接種の助成は、引き続き行っていく。

問 ヤングケアラー支援事業について伺う。

答 6年6月12日に子ども・若者育成支援推進法が改正され、支援について明記された。ヤングケアラーは、家族の介護、ひとり親、

防災・減災の取組
について

問 感震ブレイカー設置補助と防災士資格取得支援について伺う。

答 新たに7年度から感震ブレイカーの設置の一部に補助をする。防災士資格取得支援事業は、防災士認定制度を活用し、地域防災力向上を目的として、資格取得費用の一部を補助をしていく。

